

CHANGE for Waseda!

教学中心の大学運営を！

この度、総長選挙の再投票に臨むにあたり、私、田中愛治は、改めて総長を目指す覚悟をお伝えします。

私は、この4年間、どうすれば早稲田が世界で輝くようになるかを、教務部長・教務担当理事の経験に基づくと考えてきました。私は早稲田の全国全ての教学の現場を見てきました。また、世界政治学会（International Political Science Association）の会長として、世界の研究教育を肌で感じてきました。

私が目指しているのは、早稲田を支える全ての方々（教員、職員、学生、父母、保証人、校友そして早稲田のサポーター）が心をつなげて、早稲田大学を「世界で輝く WASEDA」にしようというただ一つの価値観を共有することです。

各教員、各職員が「これが早稲田のためになる」と信じる夢に向かって努力すれば、結果はついてきます。教員、職員の一人ひとりがやり甲斐を感じ、思い切って早稲田のために貢献できるような環境を創ることが大切です。

新しい風で「世界で輝く WASEDA」を実現！

早稲田が注力すべき3つの柱

- I. 研究の早稲田：世界レベルの研究を早稲田で行うための戦略
- II. 教育の早稲田：世界で輝く学生を育てるための戦略
- III. 貢献の早稲田：たくましい知性としなやかな感性を育てる戦略

早稲田が達成したい4つの夢

- A. 世界の優れた研究者が早稲田に集う
- B. 世界の優れた学生が早稲田に集う
- C. 生命医科学研究の世界的拠点を目指す
- D. 学生スポーツ界の覇者となる

3つの柱と4つの夢を実現するために必要な新しい風

- ★ 新しい風で、早稲田全体を覆う閉塞感を吹き飛ばす
- ★ 過度なコンプライアンスを強調せず、開かれたガバナンスを推進する
- ★ 早稲田で働く教職員の一人ひとりが夢を描けるような自由闊達な環境を創る
- ★ Waseda Vision 150 を単に継承するのではなく、超えて Next Stage へと進む



田中愛治

★ 田中愛治に関する最新情報はこちら...

facebook: <https://www.facebook.com/tanakaseminar/>

Twitter: https://twitter.com/aiji_tanaka

ウェブサイト: <https://aijitanaka.wordpress.com/>



なぜ田中愛治さんを推薦するのか



IPSA 世界大会開会式での会長挨拶
(2016年7月24日 ポーランド・ポズナン)

私たちは田中愛治さんを早稲田大学次期総長に推薦いたします。理由は二つあります。

一つは研究、教育、大学運営における確かな実績です。ご存知のように、田中さんは政治学、とりわけ選挙分析の第一人者として活躍されています。グローバルCOEのリーダーを務め、早稲田では人文社会系で初めて基盤研究(S)という科学研究費助成の中で最も大きな助成を受け、世論を測定する手法の刷新を追求してきました。一流の研究者であると同時に田

中さんは優れた教育者でもあります。田中さんは学部のゼミ指導、大学院の研究指導を通じて多くの優秀な学生を社会に送り出しました。卓抜した授業の評価は、英語での講義「Political Process」でティーチングアワード(2017年度)を受賞したことにも示されています。それだけでなく、専門科目の枠を超え、通称・大隈塾ならびに「政治を学びあう」の授業を通じてリーダーシップ教育の実践にも取り組んできました。その経験は、大学本部の教務部長、理事(教務部門総括)、グローバルエデュケーションセンターの所長として携わった早稲田大学の教育改革に活かされています。田中さんほど、早稲田大学全体の教育の柱にも細部にも通暁している教職員を私たちは知りません。

さらに、田中さんは文部科学省の中央教育審議会の委員をいくつも8年間にわたって務めており、他大学および国の教育行政にも明るく、文科省でも知名度の高い存在です。田中さんは早稲田を変えることで日本の教育を変えていく可能性を持った人物です。

私たちが田中さんを次期総長に推薦するもう一つの理由は、田中さんの国際社会におけるリーダーとしての経験です。田中さんは政治経済学部卒業後に米国に10年間留学し、オハイオ州立大学で博士号を取得しました。海外の学術誌にも論文を多数発表しているだけでなく、田中さんは世界政治学会(International Political Science Association)の会長を務め、世界から集う一流・著名政治学者を前にして、遺憾なくリーダーシップを発揮しました。人文社会系の国際学会をリードした経験をもつ日本人研究者は少なく、早稲田では田中さんだけでしょう。さらに、本学の理事(教務部門総括)として、国際的な大学間連合の会議(APRUやU21等)に出席し、世界の大学の副学長たちと対等に大学教育改革を議論してきました。田中さんのこの希有な経験と、研究、教育、大学運営すべてにおける豊富な実績を早稲田大学の国際化に活かし、海外の大学と切磋琢磨しながら「世界に輝くWASEDA」をつくりあげてくれるでしょう。

人柄と指導力から先輩、同僚、友人、後輩、教え子に愛され、早稲田を誰より愛する田中さんこそ、誰からも愛される「世界に輝くWASEDA」をつくる総長にふさわしいと、私たちは確信し、次期総長に推薦いたします。

推薦人を代表して
須賀晃一(政治経済学術院長)



田中愛治プロフィール

現職：早稲田大学政治経済学術院 教授

学歴・職歴：

1951年：東京都に生まれる

1975年：早稲田大学政治経済学部 政治
学科卒業

1985年：The Ohio State University（オハイオ州立
大学）大学院政治学研究科博士課程修了
博士（Ph.D.政治学）取得

その後、道都大学専任講師・助教授、東洋英和女学院大
学助教授、青山学院大学助教授・教授を経て、1998年
4月より現職



2014年7月にモントリオールで、
世界政治学会 (IPSA) 会長に就任。
前会長のヘレン・ミルナー教授 (プ
リンストン大学) からバトンタッ
チされる。

早稲田大学における主な役職：

2000年9月～2002年9月：早稲田大学政治経済学部・教務主任（教務担当）

2006年11月～2010年11月：早稲田大学・教務部長

2010年11月～2014年11月：早稲田大学・理事（教務部門総括）

2014年9月～現在：早稲田大学・グローバルエデュケーションセンター（GEC）所長

主要科学研究費採択（科学研究費基盤（C）5件は省略）：

2006年度～2008年度 科学研究費基盤（A）直接経費総額：¥34,100,000

2013年度～2017年度 科学研究費基盤（S）直接経費総額：¥161,420,000

人物像：

- 早稲田の教学の中枢を担う教務部長ならびに理事（教務部門総括）として8年間大学運営に従事しました。
 - 全学の学生に向けた教育を提供するグローバルエデュケーションセンター（GEC）所長として4年間を過ごす中で、多くの教職員、学生と意見交換し、教育の重要性を再認識しました。
 - 早稲田では、世界の文系の主要な国際学会の会長を務めたのは初めてといわれています。日本人では武者小路公秀・元国連大学副学長以来二人目となる世界政治学会（IPSA: International Political Science Association）の会長（President）を務めました。特に、2016年7月のIPSAの世界大会はトルコ・イスタンブールで開催予定でしたが、前年秋から同年冬の相次ぐテロを見て、私が理事会のメンバーを説得して開催地をポーランド・ポズナンに同年3月に変更しました。これにより、世界大会を成功裡に終えることができました。なお、トルコでは実際に6月29日にイスタンブール国際空港で大規模テロが起こり、7月14日にクーデター未遂が勃発しましたので、胸をなで下ろしました。この危機管理の経験は、私の早稲田の運営にも役に立つと信じております。
- 早稲田大学の学生時代は4年間、体育局（現・競技スポーツセンター）の空手部に所属しており、文武両道に励みました。今日の強靱な健康と精神力も空手で鍛えたおかげだと思えます。



ゼミ合宿
(2015年9月 鴨川)



小野粹の墓前
(高知・宿毛)

私たちは田中愛治さんを推薦します！

佐々木 幹夫 (1960年理工卒)	日本経済団体連合会副会長、三菱商事社長・会長・相談役等を歴任／現在、同社特別顧問、早稲田大学評議員
長谷川 閑史 (1970年政経卒)	経済同友会代表幹事、武田薬品工業社長・会長等を歴任／現在、同社相談役、早稲田大学評議員
鈴木 宏治 (1963年第一商卒)	早稲田大学校友会東京都23区支部初代幹事長、早稲田大学商議員
諸江 昭雄 (1963年第一法卒)	武蔵野稲門会会長、早稲田大学商議員
Ellis S. Krauss	カリフォルニア大学サンディエゴ校名誉教授、旭日中綬章2018年受賞者
Helen Milner	プリンストン大学教授、元世界政治学会会長
Ilter Turan	トルコ Istanbul Bilgi 大学・元学長・名誉教授、世界政治学会会長
Dianne M. Pinderhughes	ノートルダム大学教授、元世界政治学会副会長、元アメリカ政治学会会長
Leonardo Morlino	イタリア LUISS 大学副学長（研究担当）、元世界政治学会会長
Frances M. Rosenbluth	イエール大学教授・前教務担当理事（Deputy Provost）
Susan J. Pharr	ハーバード大学教授・元ハーバード・アーツ&サイエンス・カレッジ Associate Dean、元政治学部長、前ライシャワー日本政治研究センター所長、US-Japan Program 所長
須賀 晃一	政治経済学術院 教授
川岸 令和	政治経済学術院 教授
ゲイ・ローリー	法学学術院 教授
長崎 潤一	文学学術院 教授
渡邊 義浩	文学学術院 教授
澤木 泰代	教育・総合科学学術院 教授
吉田 文	教育・総合科学学術院 教授
ケイト・エルウッド	商学学術院 教授
宮島 英昭	商学学術院 教授、高等研究所 所長
笠原 博徳	理工学術院 教授、IEEE Computer Society President
合田 亘人	理工学術院 教授
赤尾 健一	社会科学総合学術院 教授
弦間 正彦	社会科学総合学術院 教授
池岡 義孝	人間科学学術院 教授
菊池 英明	人間科学学術院 教授
友添 秀則	スポーツ科学学術院 教授
原田 宗彦	スポーツ科学学術院 教授
麻生 享志	国際学術院 教授
浦田 秀次郎	国際学術院 教授
後藤 潤平	高等学院 教諭
武沢 護	高等学院 教諭
上田 太郎	本庄高等学院 教諭
半田 亨	本庄高等学院 教諭
宇津木 慶子	職員 学生生活課
菊池 彰徳	職員 グローバルエデュケーションセンター
小牧 慎二	職員 グローバルエデュケーションセンター
日浦 圭子	職員 図書館総務課
本間 知佐子	職員 図書館総務課